

メッセージ

原水爆禁止二〇一九年世界大会にご参加の皆様、大変ご苦労さまでございます。

平素より、皆様方におかれましては、核兵器のない平和な世界の実現に向け、多大なるご尽力をいただいておりますことに対し、心から敬意を表するしだいでございます。

さて、我が国にとって決して忘れることのできない広島・長崎への原爆投下から今年で七十四年目の夏を迎えます。

私たちは、世界で唯一の被爆国として、広島・長崎の悲劇を二度と繰り返してはならないとの固い決意のもと、先の大戦の幾多の教訓を深く心に刻み、真の平和を実現すべく、「核兵器の恐ろしさ」、「平和の尊さ」、「命の大切さ」を次世代にしっかりと語り継いでいかなければなりません。また、このことは、今を生きる我々の使命であります。

本市といたしましても、核兵器の廃絶と恒久平和の実現に向け、非核平和都市宣言を行い、「恒久平和を願う市民のつどい」や「平和のバラ」普及事業など、様々な非核・平和啓発事業を積極的に推進し、平和意識の高揚を図る取り組みを積極的に推進してまいります。結びになりましたが、原水爆禁止二〇一九年世界大会が成功裏に終わられますとともに、皆様方の訴えが世界へと響くことを祈念いたしまして、私のメッセージといたします。

令和元年八月三日

寝屋川市長 広瀬 慶輔